



推奨品種 うす皮ミニトマト ピンキー



ミニトマトの栽培

(家庭菜園向け)

POINT!

ミニトマトは大玉トマトに比べて着果しやすく手軽に栽培できる野菜のひとつです。数株植えておけば毎日のように収穫を楽しめ、さらに樹上完熟したミニトマトの美味しさは、店頭で購入するものとは比べものにはなりません。ポイントを押さえれば大収穫が期待できます。さあ、栽培を始めましょう!!

①畑の準備

1㎡あたり完熟堆肥と腐葉土を約2kgずつ投入し、すき込みます。肥料は畑により加減しますが一般的には化成肥料1㎡あたり100g(8-8-8の場合)程度、骨粉100g、pHの調整が必要な場合は苦土石灰などで酸度の調整をしておきます。

畝幅60cm~80cm程度の畝(一条植えの場合)を立てます。トマトは水はけの良い土壌を好みますので、やや高畝にするとうまいでしょう。地温確保と防草を兼ねて黒マルチを張っておきます。

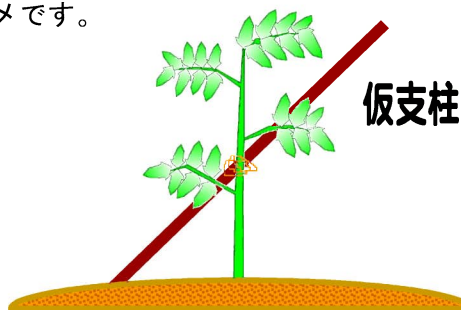


支柱を合掌造りにする方は畝幅を倍にしてね。



②定植

畝の中央に株間40cm~50cm間隔で定植します。風等でぐらつかないように仮支柱を斜めに挿し縛っておきます。又、霜の心配がある場合はホットキャップやトンネルなどがオススメです。



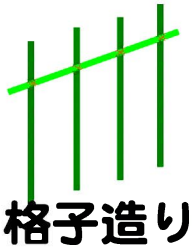
ホットキャップ



トンネル

③支柱立て

霜の心配がなくなりキャップやトンネルを除去出来るようになったら、本支柱を立てます。地上部が160cm~180cm程度あれば良いでしょう。支柱はぐらつかないように筋交いを入れたり合掌造りにすると丈夫に仕上がります。支柱への誘引は、生長の余裕を持たせるために8の字縛りが良いでしょう。



格子造り



合掌造り



8の字縛り

●上級者には雨よけ栽培をオススメします！

ミニトマトは収穫前に雨に当てると裂果しやすくなります。そこで、雨よけ栽培をすれば品質も収量もぐ~んとUP！ぜひ、チャレンジしてみませんか？



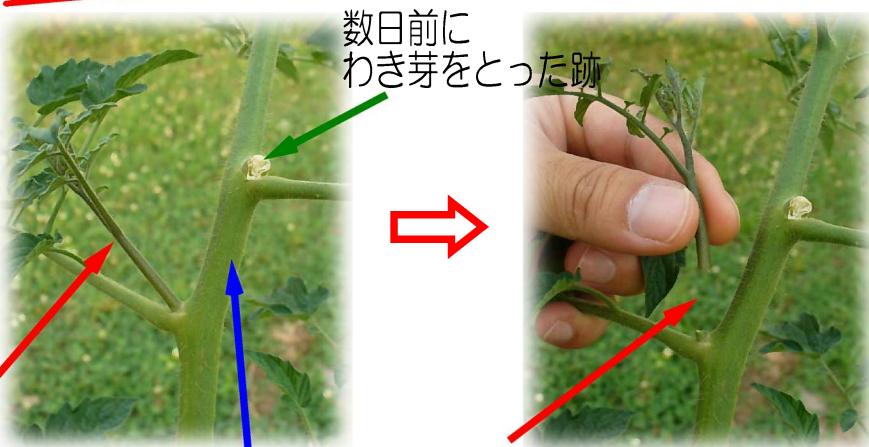
このような支柱を使用すると便利です。
ホームセンター・園芸店で売っています。



④わき芽かき

家庭菜園では一本整枝が基本です。トマトは放っておくと、葉の付け根からわき芽（側枝）が出てきます。これをそのままにしておくと生育が悪くなります。風通し、日当たりも悪くなりますので、10cmほどの大きさになったら順次摘み取ります。

Point!! わき芽の生育は早く見つけ次第除去しますが、最低でも一週間に一回ぐらいは見回しましょう。



数日前に
わき芽をとった跡

これがわき芽

太いのが主枝

根元から折ります

⑤生育中の管理

ミニトマトは収穫が始まれば次々と着果しつづけます。草勢を落とさないように二週間に一回ぐらいで追肥を施しましょう。また、カルシウムが不足すると尻腐れ病などが発生しやすくなるためカルシウム剤等も施すと良いでしょう。



追肥も
忘れずに!



⑥生育中の管理 2

家庭菜園では、トマトは5～6段まで花房が着いたらその上部の葉を2枚残し芯を止めます。また、収穫が終わった花房より下の葉は切り取り、茎だけにしておくと風通しが良くなり病気の予防にもなります。



ピンキーなら、こんなに長房〜♪

⑦収穫

幹に近い果実から順次赤く完熟していきます。樹上完熟した果実を収穫出来るのが家庭菜園の醍醐味です！真っ赤に色づいた果実をつまんでみて軟らかさを感じるようになったら待ちに待った完熟です。(^_^)v



がまんする・・・(-_-) 収穫OK!!(^o^)



Congratulations!!



さあ、次はどのミニトマトにトライする?